



わ 私たちが、か 変えます。つ 創ります。ち 協働参画社会

第119号(令和2年1月1日) ◆発行 若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」 会長 遠藤 賢一郎 ◆事務局 TEL/FAX 266-0034 メール komiwaka@bi.wakwak.com HP:URL:http://www.komiwaka.com/

地域力向上を目指して

若槻地区住民自治協議会 会長 遠藤 賢一郎



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたことと心よりお慶びを申し上げます。

旧年中は、コミわかの事業運営にご支援、ご協力を 賜り誠にありがとうございました。本年も引き続き皆 様方のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い 申し上げます。

さて、昨年 10 月の台風 19 号による豪雨のため、千曲川を始めとした各地の河川が氾濫する水害が発生しました。また九州、中国四国地方でも豪雨による洪水、土砂崩れなどの大きな被害が発生するなど、昨年は降雨による災害の多い年でした。

特に長野市穂保では千曲川が想定外の増水により堤防が決壊し、洪水により死傷者が出たり、広範囲で家屋や田畑、また公共施設などが大きな被害を受けました。被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

今回の災害で若槻地区にも避難所が開設され、その 運営において皆様にもご協力を頂きました。また、昭 和の森公園、若槻団地みどりの広場には被災者用の仮 設住宅が建設され、2年間の限定で12月から入所が始 りました。上野区、若槻団地区の皆さんには急遽の要 請にもかかわらず、ご理解、ご協力を頂き感謝申し上 げます。新しく仲間が増えることになりますがご協力 よろしくお願いいたします。

今年度は「第二次若槻まちづくり計画」2年目の年であり、昨年度、「若槻コミュニティーセンター建替推進委員会」や、「地域振興・福祉課題検討プロジェクト」を立ち上げるなど、まちづくり計画の推進を図ってまいりました。

今回の災害により、長野市の公共施設も大きな被害を受け、行政もその対応、対策を最優先に進めており、11月に予定されていた「ようこそ市長室へ」の市長との懇談も中止になり、コミュニティーセンター建替え等の若槻の課題について要望することがかないませんでした。これらの課題につきましては、今後の状況等を見ながら、引続き要望していくことにいたします。

昨年は5月に新天皇がご即位され、令和という新しい時代が幕を開けましたが、国外、国内とも問題が山積しており、将来が見通せない時代であります。いかなる時代にあっても、若槻地区を住民の皆様が住みよいと思える町にしていくことがコミわかに課された使命であります。

地球温暖化の影響により、今回のような大規模災害 は更に多くなると懸念され、災害対策の重要性がます ます高まっております。地域の防災力を高めるために は、地域住民の連携が重要で、近隣の住民同士の絆を 深める取り組みも進めてまいります。

これからも少しでも地域住民の皆様のご期待に応えられるよう努力してまいりますので、地域の皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げるとともに、皆様方にとって本年が幸多き年になることをご祈念申し上げて新年の挨拶といたします。

